

令和6年度 第3回 岸和田市観光振興計画推進委員会

1 日時 令和7年3月14日（金）午前10時～午後0時

2 場所 岸和田だんじり会館1階会議室

3 出席者

【学識経験者】石田信博、徳山美津恵、佐野楓

【公共的団体の代表者】阪口寿子、中井秀樹、山本義治、藤浪勝三

【関係団体の代表者】塩見正成、田邊真

【オブザーバー】小嶺大輔

【欠席者】西村令子、上田貴司、杉田精教、西崎玲圭

【事務局】船橋魅力創造部長、井上観光課長、有留担当主幹、藤本担当長、薮内担当員、出口担当員

【傍聴者】 3名

次第

1 開 会

2 議 事

（1）令和6年度実施事業の報告について

（2）その他

3 閉 会

配布資料

○次第

○配席図（資料①）

○令和6年度実施事業の報告（資料②）

○意見シート取りまとめ（資料③）

○各事業の達成度一覧（資料④）

○関西まちづくりコンサルティング事業（資料⑤）

○令和7年度観光振興計画推進委員会スケジュール案（資料⑥）

1 開会

2 議事

(1) 令和6年度実施事業の報告について

●事務局

資料②③④をもとに、基本方針ごとにシートの説明と、それに対する事前の意見と市の考えをご報告

①基本方針1のプロモーション強化を報告（シート1～5）

●副委員長

岸ぶらを拝見して、基本情報ではないよりディープな内容が記載されていることが良い。ただ、地元情報を発信する点に加えて、発信の基準（統一した発信）を設けることで、地元の人が定期的に閲覧するサイトとなり、地元住民が発信する効果も得られると考える。

●事務局

事業の告知や結果を発信する体制を整えることが課題であるため、整理したい。岸ぶらには莫大な情報資産があり、今後の見せ方としてルール作りをすることで、統一した発信が必要と考える。

●副委員長

地元の人が定期的に見るようなサイトになれば、口コミにも繋がり波及すると考える。

●委員（F）

施策を実施している意味は岸和田の認知度向上ということが課題と思われるが、認知度向上の成果について事務局はどう考えるか。

●事務局

全て数値を取れるというわけではないため、各施設の入場者数や売上の増、アンケート結果より、認知度が向上していると考ええる。

●委員（F）

分析する内容について来場者数や売上もあると思うが、どこからきているか等の調査もすることで、認知度向上の指標としてもなると考える。

②基本方針2の観光コンテンツの強化を報告（シート6～9）

●副委員長

データをほぼすべての事業を通して取っていることは非常に良いことであるため、継続して実施いただきたい。ただ、より深く分析する手法としてクロス分析があり、例えば自転車の事業でいうと、年代と性別、どこから来ているかと性別とか、細かい分析を行うことで、各コンテンツが誰にどう評価されているかを把握できる。

●事務局

今年度について、クロス分析にまで至っていないのが現状。おっしゃる通りより深い分析を行い、今後の事業展開に活かしたい。またそういった調査分析ができるようスキルアップに努めたい。

●委員（B）

シート8の数値目標の件数は何の件数を指しているか。

●事務局

市のプレス発信による記事掲載数であり、基本的に新聞社へ発信した結果である。

●委員（B）

参考までに、武者行列については各所プレスを実施した結果、メディア掲載だけでも50近く取り上げていただいた。

●事務局

実績報告の際に提出をお願いしたい。

●委員（F）

実績をみて、ポテンシャルがあると思う。岸和田のオンリーワンを磨いていくということだと思うので、地域に根差した文化をとがらせることが重要。また、事業のフィードバックしたことを協力した事業者に対してもフィードバックすることで、やる気に繋がり今後にも繋がる。一体感をもって施策を実施すべきである。

●事務局

おっしゃる通りであり、今年度関西まちづくりコンサルティング事業において、事業者への働きかけも実施しているため、後ほど報告したい。

●委員（D）

だんじり文化を継承したいという市の方向性に対して、祭礼当日以外において市の観光と関連して取り組むことについて各町も考えている。各町も市の観光と協力して取り組んでいく意向ではあるため、うまく活用して通年観光を実現できるのではないか。また情報発信についても、官民連携して取り組んでいくことも必要であると考え。

●委員（B）

関係者の方々と今年度様々な事業において協力いただいて事業を実施した。通年観光という点で、次年度以降も引き続き実施を予定しており、ご理解ご協力をいただいている。少しずつ継続して取り組んでいく体制を築き上げている。

●事務局

後ほど報告するだんじり講座においても、関係者含め様々なご協力をいただいた結果、事業を実施できた。関係者の方々も本市の事業に対しても非常に前向きであるため、それに見合う事業展開を検討するとともに引き続き協力体制を築きたい。

●委員（C）

だんじりの事業含め、財政規模を膨らますという点を視野に入れて事業を実施すべきである。

●委員（B）

小屋巡りウォークについては、持続可能という点を念頭に置き、継続して事業を実施するためにも、今年度は一人当たり参加費を増やして実施した。引き続き検討したい。

●委員長

だんじりというのは岸和田でも上位のコンテンツである。だんじりという資源を観光という目線でも有効活用すべきであると考え。

●委員（E）

だんじりの事業を実施するにあたり、市の支援も必要と考える。

③基本方針3の受入体制の整備・充実を報告（シート10～12）

意見なし

●委員長

シート全体における、総評・課題分析・今後の見直しについての事務局の取りまとめに意見はないか

意見なし

(2) その他

●事務局

資料⑤をもとに関西まちづくりコンサルティング事業について報告

●事務局

資料⑥をもとに令和7年度観光振興計画推進委員会スケジュール案について説明

●委員長

・本日の推進委員会を閉会する。